

基本理念

これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館

基本構想

新図書館・新点字図書館・科学館(仮称)基本構想(H23.4)

基本計画

新図書館等複合施設整備基本計画(H23.7)

資料 6

1

基本方針

1 情報提供機関として地域を支える図書館

2 県民・市民の課題解決の支援ができる図書館

3 セーフティネットの役割を果たす図書館

4 図書館利用に障害のある利用者に配慮した図書館

5 進化型図書館

+

◆ 両図書館の独自機能の向上

基本的な考え方

●『オーテピア高知図書館サービス計画』が2期10年を迎える中、基本理念及び基本方針を継承しつつ、図書館を取り巻く社会情勢の変化に順応するよう、具体的な取組の強化や見直しを図る。
●スマートシュリンクの施策や、人工知能等のデジタル技術の高度化・一般化などに対応したサービスについて検討し、サービスの充実を図る。
●地域の課題解決を支援する図書館として、これまで培ってきた関係機関との連携・協力関係をさらに強化・発展させるとともに、取組成果の県内・市内全域への普及を図る。

第2期計画推進の状況・成果、社会等の動向

第3期に向けた主な課題(問題点)

取組の方向性

サービス・取組の体系

目標及び目標値(R8年度)		R 4年度 (2期初年度)	達成状況	R 6実績	達成状況	R4増減率
年間個人貸出点数	115 万点	1, 103, 351	95. 9%	1, 031, 772	89. 7%	93. 5%
レファレンス件数	3.1万件	20, 621	66. 5%	19, 605	63. 2%	95. 1%
オーテピア来館者数	100万人	839, 370	83. 9%	962, 948	96. 3%	114. 7%
県民一人当たり年間貸出点数	5.2点	4. 8	92. 3%	4. 9 (R5)	94. 2%	102. 1%
参考：県内人口(10.1推計)		684, 049		655, 698		95. 86%

【主な成果】

・課題解決支援サービスの充実
・関係機関との相互協力関係の強化
・「外国人材受入・活躍推進プラン」への参画など、施策と連動した取組の促進
・課題解決支援サービスの市町村立図書館への波及
・事業継続計画(BCP)の策定 等

【評価】

・Library of the Year2025 大賞受賞
受賞理由:オーテピア高知図書館と高知県図書館振興計画の両輪での推進
・全国図書館大会等における活動報告・取組紹介
多文化サービス、バリアフリーサービス、健康情報サービス、防災対策 等

社会環境の変化

・人口減少、人口構造の変化
・地方経済の縮小
・AI(人工知能)の高度化と普及
・外国人材の受入れ拡大
・災害の激甚化・頻発化
・物価高騰等による経済環境の変化 等

地域の課題

人口減少 最重要課題

・出生数の減少
・若年人口の流出
・産業の担い手不足
地域経済の縮小
公的サービスの縮小等への対策
・高齢化・健康長寿対策
・南海トラフ地震対策 等

図書館に関係する施策の動き

【国】・著作権法の一部を改正する法律(R5改正)
・第二期読書バリアフリー基本計画(R7策定)
・書店活性化プラン 等

【県】・高知県元気な未来創造戦略
・4Sプロジェクトの推進
・高知県読書バリアフリー計画(R7.1策定) 等

【市】・第3期高知市まち・ひと・しごと創生総合戦略(R6.3策定)
・第四次高知市子ども読書活動推進計画(R7.3策定)
・第二期「オーテピア高知声と点字の図書館サービス計画」 等

1 社会情勢や地域課題への対応

① 人口減少・スマートシュリンク

・図書館分館やサービスポイントとなる公共施設の統廃合、高齢化・交通手段の途絶による来館困難等により、図書館サービスが受けられない県民が増加する可能性がある。
・市町村によって図書館の整備状況に二極化の傾向が見られつつある。高知市においても、中心部と周辺部で地域格差がある。

② ICTやAIの進歩

・ボーンデジタル資料(初めからデジタルのみで作成された資料)への対応が進んでいない。
・電子書籍サービスの利用に伸び悩みが見られる。
・非来館での各種手続きが煩雑である。
・利用者間のデジタル・デバイド(格差)がある。
・生成AIが急速に普及しリテラシーの重要性が増しているが、対応する取組の実施に至っていない。

③ 外国人材の受入れ拡大

・在留目的や県内での生活環境、母国での図書館利用習慣等の背景が大きく異なっており、図書館サービスへのニーズ把握・対応が十分でない。

2 「場」の価値の創出・地域との共生

・図書館側からの情報発信の取組は進んでいるが、利用者同士の交流や学び合いにつながる取組は少なく、図書館の「場の力」を十分に活用できていない面がある。
・行政機関・団体との連携・協力関係が深まった一方で、民間団体やNPO等との関係が弱い。

3 サービス提供体制

・社会的に孤立しがちな人等を対象としたサービスについて、サービスの広報・普及が十分ではない。
・オーテピアでの取組を県内・市内全域に広げていくためには、県・市町村とも職員の継続的なスキルアップが必要となっている。

基本方針に「3つの視点」を反映した取組

スマートシュリンク

情報リテラシー

デジタル・AI

<情報提供機関として地域を支える図書館>

・サービスの基盤となる資料・情報の継続的な収集
・ボーンデジタル資料をはじめとするデジタルコンテンツの収集・提供のあり方の検討
・県内のデジタル・アーカイブの機能集約等の検討

<県民・市民の課題解決の支援ができる図書館>

・司書の専門性を生かしたレファレンスサービスの更なる充実とサービスの周知
・官民の機関・団体や大学等と連携・協力した相談会・勉強会等の取組の拡充
・利用者に応じた情報リテラシー講座の提供
・社会とのつながりや自己実現の場としての図書館の価値を高める取組の実施

<セーフティネットの役割を果たす図書館>

<図書館利用に障害のある利用者に配慮した図書館>

・不登校等、さまざまな事情を抱える子どもたちへの学習機会・場の提供
・病院や福祉施設等の入所者、図書館遠隔地域住民等の、来館が困難な方を対象とした非来館サービスの充実
・福祉、医療、教育、外国人支援等の各分野との関係強化によるニーズ把握、普及啓発の推進

<進化型図書館>

・ICT技術の活用による利便性の向上、業務の効率化
・AIの活用の検討

<両図書館の独自機能の向上>

・貸出・返却拠点の拡充や電子書籍サービスの出張登録など、どこに住んでいても図書館サービスが利用できる環境の整備に向けた取組[県・市]
・市町村立図書館・図書室の実態に応じたきめ細かな支援の実施[県]
・市内各地域の特色やニーズに沿ったサービスの実施、分館・分室との連携・協力体制の強化[市]

1 地域を支える情報拠点機能の充実

(1)資料・情報の収集
(2)高知県関係資料の収集・保存・提供

2 課題解決支援機能の充実

(1)ビジネス支援サービス
(2)健康・安心・防災情報サービス
(3)行政支援サービス
(4)情報リテラシーの向上支援

3 利用者に応じた図書館サービスの充実

(1)児童サービス
(2)ティーンズサービス
(3)多文化サービス
(4)図書館利用に障害がある方へのサービス

4 連携・支援及び図書館の活用

(1)市町村立図書館等への支援
(2)高知市全域サービス
(3)県立学校との連携

横断的なサービス及びサービス提供体制

・司書の専門性の向上
・レファレンスサービスの提供
・サービスの普及・啓発(連携・広報)
・中心市街地活性化への寄与、周辺施設、大学等との連携
・災害対応への事前準備

【成果指標】 サービス指標の項目、目標値は検討中

○ 総括的な指標

① 年間個人貸出点数
② 事項レファレンス件数
③ 県民一人当たりの年間貸出点数
④ 年間入館者数(オーテピア入館者数)

○ 主要な取組に関わるサービス指標